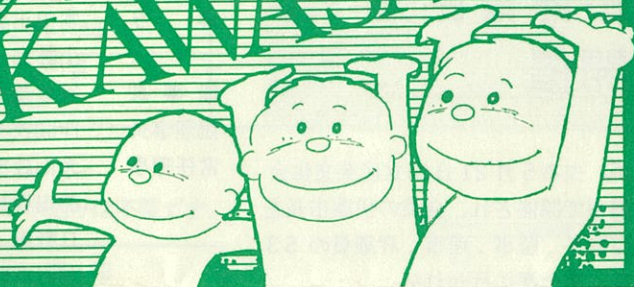


スポーツ KANASAKI

川
崎



No.
15



昭和61年度 川崎市体育協会 総会開催

本年度総会が、去る5月21日市立産業文化会館第4・5会議室で開催され、会長の伊藤市長を始め、副会長、参与、監事・理事、評議員の53名の出席を得て、盛会裡に行われた。

議案は4月24日本年度第1回理事会で審議された内容について討議され、規約改正・役員改選等、市体協の新しい構想が盛り込まれた重要議題が多数あったが、原案通り承認された。

◎ 昭和61年度事業計画について

〈基本方針〉

川崎市内のアマチュアスポーツ団体を統括し、加盟団体相互の緊密な連携をはかり、市民の体育・スポーツ活動の振興と市民が日常生活の中で積極的、継続的にスポーツ活動が実践できるよう参与する。

〈主要施策〉

- (1) 各種市民大会の充実
- (2) 普及活動の充実・強化
- (3) 専門委員会の拡充
- (4) スポーツ少年団の育成・強化
- (5) 選手・役員への派遣事業の充実
- (6) 指導者相互の連携強化

特に本年度より充実・強化されたものについては、規約改正において、各種専門委員会活動の充実をはかるため、専門委員会規程が新しく起案され承認されたこと、市体協の独立を目標に賛助会員規程が新設されたこと、事務局が専門職員をおき、事務局規程ができたこと等があるが、それに伴って予算も従来より大巾増加を見た。又本年度より新加盟団体としてソフトボール・合気道・クレール射撃の三団体が承認され、計28種目団体になったこと、役員改選によって新学識経験理事の就任を見たこと等が特記される。

昭和61・62年度市体協役員名簿

会 長	伊藤三郎
副 会 長	中野一雄
参 与	本田正男・加藤新一郎・片山吉隆 小林完一・神山 力
理 事 長	谷口恭男
副理事長	作間牧夫
常任理事	大山政次 (広報委員長) 湯田坂昌平 (競技委員長) 日野原 守 (財務委員長) 左沢重明 (事業委員長) 長島 啓次郎
理 事	川島哲男・岡崎彦雄・中山 剛 古谷 保・高瀬健二・矢野宣義 保坂 博・小口常雄・桜井定吉 長谷川武雄・古川幸一・浅野浩志 山田元彦・大沢英雄・山本十三二 多田勝彦・野口晏正・河田英彦 市川純子・木村邦雄・金井良祐 大村浩章・小林悠二・今井 厚 松尾武司・大谷金一・永井日出男
監 事	荒川美夫・狩屋一夫
会 計	古川幸一
事 務 局	吉田敏郎・吉浜さかえ

専門委員会構成

委員会名	委数員	委 員 名
財務委員会	5人	委員長 日野原 守 (軟式庭球) 保坂 博 (剣道) 中畑 一男 (スケート) 松尾 武司 (学識) 大谷 金一 (学識)
広報委員会	8人	委員長 大山 政次 (陸上) 古谷 保 (卓球) 皆川 敏明 (陸上) 谷口 浩 (サッカー) 今村 貞 (ラグビー) 小嶋 創 (水泳) 小坂 末吉 (バスケット) 中山 剛 (バドミントン)

競技委員会	8人	委員長 湯田坂 昌平 (バレーボール)
		川島 哲男 (野球) 鈴木 孝雄 (軟式庭球) 小口 常雄 (弓道) 木村 三郎 (相撲) 山本十三二 (体操) 高瀬 健二 (テニス) 今井 厚 (中体連)
事業委員会	8人	委員長 左沢 重明 (山岳)
		吉岡 幹雄 (サッカー) 引田 満男 (軟式庭球) 岡崎 彦雄 (バスケット) 長谷川武雄 (水泳) 古川 幸一 (スキー) 菱沼 一夫 (テニス) 梅沢 喜由 (バレーボール)

新加盟団体承認

本年度より次の3団体が本市体協加盟団体として、4月24日本年度第1回理事会の結果、承認され、新しい仲間として発足しました。

○合気道連盟

会長山田吉三郎、理事長大村浩章 13団体

○クレー射撃

会長岡田末治、理事長金井良祐 178名

○ソフトボール協会

会長田中浜男 理事長木村邦雄 169団体

どの団体もそれぞれ従来立派な実績を持ち、今後の活躍が期待されます。



“新生体協を財務面でも支えよう”

川崎市体育協会
財務委員会 日野原 守

川崎市体育協会は古くから各種スポーツ競技団体の統轄機関として、市内の実業団・大学・高校・中学等の各チームの参加により、毎年大きく発展を続けて参りましたが、市民のスポーツ活動への関心が、健康と体力づくりの重要性の認識と共に、非常に高まってきたことにより、従来競技人を対象とする事業が中心となりがちであった運営をその範囲を広げて、市民総スポーツ、生涯スポーツをスローガンにかかげ、市民各層にスポーツ活動に参加する機会を広げるよう努力することになりました。

このためには当協会では、市民が気軽に参加できる各種スポーツ教室の開設をはじめ、地域・職場でのスポーツ指導者の育成と充実等を推進して参ります。これら広範囲な種目と大勢の人々を対象にかかる事業を推進するためには、これに要する財源の確保やスポーツ愛好者の支援が特に必要になります。

そこで当協会では賛助会員制度を設け、皆様方の強力なご賛同を得て、市民スポーツの普及振興に大いに寄与していくことになりましたので、多くの皆様方の深いご理解とご支援を宜しくお願い致します。私達財務委員会では、所要資金の確保、健全なる用途を含む体協事業の厳正化等について、事業・競技・広報の各専門委員会と共に前向きに推進して参ります。

賛助会員の確保について多くの皆様方にご協力をお願い致しますが、特に体協加盟の種目団体の皆様には会員確保のためのお手伝いを宜しくお願い致します。(以上)

賛助会員募集要項きまる

本年度より発足の賛助会員制につき、財務委員会で数回検討がなされ、7月11日の常任理事会に原案が提示され、8月22日理事会で承認され、発足することになった。各加盟団体の強力なご支援をお願いします。

◎個人会員

○会費年額1口2,000円とし1口以上

- ・○会員には会員証を交付する。
- 本協会及び加盟団体主催の行事等の入場については入場券の斡旋又は招待等の便宜を計る。
- 希望によりスポーツの情報を提供する。
- 本協会発行の刊行物を送付する。

◎ 団体会員

- 会費年額 1口 10,000円とし 1口以上
上記個人会員の特典処遇の他
- 企業内のスポーツ事業について要請により指導者の派遣・相談等に応ずる。

事業委員会

去る61年6月10日、第1回の委員会を開催し、左沢委員長のほか引田副委員長(軟庭)を選出して活動を開始した。早速の課題は本年度の事業計画。当面の業務として市民スポーツ教室の立案、具体化に取り組み、次の8教室を本年度事業として展開させることとした。

親子水泳教室(3日間コース)・婦人水泳教室(18日間コース)・合気道教室(8日間)・軟庭教室・登山教室・スキー教室・ミニバスケット教室・サッカー教室。

これまで各種目協会毎に行っていた実績のある教室のみでなく、これから普及を目指そうとする種目もあるので、果たしてどのような成果が挙げられるものか、暗中模索しながらもとも角も頑張っており、良い事業の展開を目指している。

指導者の養成・研修に関する事業も近いうちに企画したいと考えている。(左沢 記)

斉藤武雄副会長逝去



永年にわたり本市体協のため尽力された、斉藤武雄氏が7月25日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

生前の功績に対し、政府から勲五等・瑞宝章が7月25日付で授与されました。

昭和60年度 優秀選手受賞者

昭和60年度において各種全国大会で活躍し、優秀な成績をおさめた本市在住在勤者に対し、各種目団体より推薦された者について選考委員会で選考の結果、下記の者が受賞と決定し、61年5月21日市体協総会に先立ち、伊藤三郎会長より魚津賞が授与されました。

1. 個人の部

- 大八木弘明(27) 陸上競技
全日本学生選手権 10,000 m 2位
" 30 Km 1位
- 藤村 紀子(46) 弓道
国民体育大会弓道競技成年女子 優勝
- 秋山 昌子(24) 弓道
国民体育大会弓道競技成年女子 優勝
- 大木 緑(25) 弓道
国民体育大会弓道競技成年女子 優勝
- 竹内 裕也(18) 弓道
国民体育大会弓道競技少年男子 優勝
- 横久 浩二(22) 水泳
日本実業団水泳大会 200m背泳 優勝
- 工藤 一也(18) 水泳
日本実業団水泳大会 400m自由形 優勝
- 加藤 靖(22) 水泳
日本実業団水泳大会 400m 個人メドレー 優勝

2. 団体の部

- 法政大学附属第二高校バレーボール部
国民体育大会バレーボール競技少年男子 優勝
- 東芝女子バスケットボールチーム
日本リーグ 2位
全日本バスケットボール選手権 2位
- 市立西中原中学女子ハンドボール部
関東中学校ハンドボール選手権 優勝
全国中学校ハンドボール選手権 2位
- 科学技術学園川崎軟式野球チーム
全国高校定通軟式野球大会 優勝
(3年連続)
- 日本鋼管チーム
日本実業団水泳大会 400mリレー 優勝

スポーツ事故の応急手当法 (第4回)

骨折について (その1)

川崎体育救護クラブ副会長 左沢 重明
日赤神奈川委嘱救急法講師

(イラスト 星 雅之)

骨折は、打撲や転倒・あるいは転落や捻転等、日常性を超える強い外力が身体に加えられた時に発生する一いわゆる外的因子による場合と、運動するスポーツマン自身の強い筋力によって骨折が引き起こされるなどの内的な因子による場合とに大別される。

前者の例としては、スキーで前方に転倒した際などに、靴の先端が支点となって脛骨また腓骨が横骨折を起こしたり、あるいはまた下腿部に捻りが加わった時にラセン状の骨折となったりする場合がある。このほかの例としては球技における衝突や、自転車や格技等での転倒、鉄棒その他からの転落など、さまざまな機転によるさまざまな骨折が発生し、しかも完全骨折に至る事例が多い。

これに対し内的因子による骨折は、たとえばウサギ跳びの繰り返しなど過酷なトレーニングによって中足骨ないしは腓骨の疲労骨折を起こしたりあるいはまた急激なジャンプやランニング・サッカーのキックなどにより、筋肉付着部の骨が自身の筋肉によって強く引張られ、剝離骨折を起こしたりする。固い路面での激しいランニングや縄飛びなどによって発生する



踵骨骨端症、野球ボールの遠投やカーブの投げ過ぎによる骨端軟骨々折等がこれに類するものである。これらは比較的不完全骨折が多いようである。

スポーツ活動中における骨折としては、骨折端が皮膚を突き破って外部に露出するような開放性骨折(複雑骨折)は、たとえばスキージャンプの

失敗その他の若干の事例は別として極めて稀であろう。そこで本稿としては皮下(単純)骨折についてのみ述べることにする。

〈骨折の見分け方〉

(1) 視診

事故の原因が転落や転倒であるにしろ、または衝突であるにしろ、それが単なる打撲だけであるのか、または骨折その他の重障害を伴っているのかについては、本人の自覚症状と、応急手当をする者の視診によるのが最初の判断法である。自覚的にいえば、単なる打撲のみであるならば、激痛や皮膚の変色はあるにしろ、患部四肢の機能障害は認められない。痛みはガツーンという感じで、当座はひどくても、患部を冷やして安静にしていれば、時間の経過と共に薄らいでくるものである。しかしその痛みが、電気が走るような、キーンとした(突き刺さるような、あるいはしびれるような)激しいもので、しかも長く続くようであれば、骨折を疑わなければならない。そのような場合、患者は下肢を持ち上げられないし、上肢ならば、患部側の腕のみではそれを上に揚げられないであろう。軽度の不完全骨折では例外もあるが、持続する激痛と自助的な運動制限は、最初に現れる徴候である。

骨折部の変形は不完全骨折では現れない。患部に変形がある場合は完全骨折であり、健側と比べて短く見えるようならば、これは筋肉に引張られて、骨折部が転位している証拠である。変形を元に戻そうとするようなことは決してしてはならない。

次に皮膚の腫脹について見る。腫れは骨折に限らず、単なる打撲でも、また捻挫・肉離れ等でも現れるが、それが極めて短時間のうちに出てくるようであれば、大きな骨折を疑わなくてはならない。このような時、もし変形が僅かなものであれば、腫れのために見逃してしまうことがあるので、変形の有無は初期のうちに観察することが必要である。

(2) 触診

変形のない完全骨折や、殊に不完全骨折では、打撲または捻挫と見誤って重大な結果を引き起こすことがある。この鑑別をするためには、患部に対して静かに次のような方法を試みてみるのがよい。

圧痛検査=骨折は激しい痛みを伴うが、特にそ

の部分に触れた時に極めて激しい痛みが走るものである。このため、患部と思われる部分より離れた場所から、示指（人さし指）で軽く圧迫し、次第に患部に向けて近づけて行く。もしも患部に指が当たれば激痛が起こる。痛みは一点のみでなく、骨折線に沿って線状に巻いて認められるであろう。しかしこの検査は軽く静かに行うべきである。

○**介達痛検査**＝下肢であれ上肢であれ、骨折が疑われる場合は、近くの関節部分を骨と平行な方向に向けて軽く叩いてみる。具体的にいえば、下肢ならば踵の底部を膝の方向に向けて、曲げた示指もしくはボールペンまたはシャープペンの基部等で叩いてみることである。中足骨（足の甲部）の骨折の疑いがある場合は、踵の後部を同様に叩いてみる。上肢の場合では肘または掌の根元（手根骨）あたりを叩いてみるとよい。この時、叩いた場所から離れた骨部に痛みが走るならば、骨折の疑いは濃厚である。捻挫の痛みとの典型的な区別法は、捻挫の場合は関節部に限局されていて、このような介達痛を伴わぬことである。捻挫の痛みは関節部を

左右いずれかの方向に回転させてみた時、一方の方向に回転させた時には激しい痛みを訴えるが、反対の方向に回した時には痛みを訴えないという特徴がある。激痛は関節部のみに現れる。



ここで留意しなければならぬことは、関節部自体もしくは関節のすぐ付近に骨折があった場合である。この鑑別は難しいものがある。このような場合“疑わしきは重きをとる”という原則に従って、骨折としての処置をとることが必要である。捻挫ならば絆創膏固定でよいが、骨折ならば副子をあてて固定する必要がある。処置の仕方については次稿で述べることにする。

◆ 第41回 国民体育大会 ◆

本年度国体が次のように開催されます。

夏季大会 山梨県 9月 7日～10日

秋季大会 山梨県 10月12日～17日

冬季大会 長野県

スケート 62年1月27日～30日

スキー 62年2月19日～22日

本市体協として本年度は8団体の代表の方に視察をお願いすることになりました。

スポーツ実践の提言

平和社会の歩みと相まって、スポーツに対する関心はとみに高まり、いちじるしい進展を遂げ、人びとの日常生活のなかで、欠かせないものの一つとなりました。

スポーツを実践し、自らの健康と体力を維持、増進して、明るく豊かで活力ある日々を送ろうとする人びとが大変増加しております。今やまさに体育・スポーツは、人間が生活していくうえで欠くことのできないものになってきたことは、誠に喜ばしい限りであります。とくに近年は見るスポーツから、するスポーツへと、その本質が移行し、しかも徐々にではありますが、生活のなかにとけこんだ「自発的スポーツ実践」の芽が大きく育ちはじめました。そこで、すべての基本である、スポーツの原点である走る、跳ぶ、投げることが日常生活のなかに取り入れられることを私はお奨めしたい。

今日の情報過多社会の中で間接的知識が非常に豊かになった若者が、これからの社会生活を営むために今、何が必要なのか、私は理論よりも実体験を通して、忍耐力が習得できる、スポーツを実践することによって、何ごとにも自分自身でなにかを掴むことが出来ると思います。物質文明に満たされた私たち文明人は、体力と忍耐力が低下しています。人間はいかなる場合に自分の体力や能力を試されるかわかりません。明るく豊かな日常生活のために、スポーツを実践することによって一生の財産となることを祈る。

陸上競技協会 大山政次

県総体、秋の日程決まる。 はやくも水泳は総合優勝

61年度県総合体育大会の日程が次のように決まりました。昨年5位の屈辱をはねのけて夏の種目である水泳は男子・総合ともに優勝し、軟式庭球が準優勝の好成績を収めました。川崎の名誉にかけて、各競技のご健闘を期待している



秋季大会

競技	本大会		予選	
	期日	会場	期日	会場
陸上競技	9月28日 (日)	県立体育センター		
バレーボール 競技	9月28日 (日)	藤沢市秋葉台文化体育館 (一般男子) 県立体育センター (一般女子) 県立県央地区体育センター (青年男子) 県立西湘地区体育センター (青年女子)		
軟式野球 競技	9月28日 (日)	茅ヶ崎市営球場 大和市引地台野球場	9月21日 (日)	綾瀬市光陵運動公園野球場 (順延の時は大和市下福田 球場) 大和市引地台野球場 茅ヶ崎市市営球場 厚木市玉川球場 海老名市運動公園球場
サッカー 競技	9月28日 (日)	県立体育センター サッカー場	9月21日 (日)	県立体育センター 藤沢市秋葉台文化体育館
卓球競技	9月28日 (日)	藤沢市秩父宮記念体育館		
バスケット ボール競技	9月28日 (日)	平塚市見附台体育館	9月21日 (日)	平塚市見附台体育館 西湘地区体育センター
柔道競技	9月28日 (日)	県立武道館		
剣道競技	9月28日 (日)	県立武道館		
弓道競技	9月28日 (日)	県立武道館		
バドミントン 競技	9月28日 (日)	相模原市総合体育館	9月21日 (日)	相模原市総合体育館
クレー競技	9月28日 (日)	県立伊勢原射撃場		

61年6月1日 オープン

川崎市 麻生スポーツセンター

麻生スポーツセンターは、スポーツの普及及び振興に関する各種の事業を行い、市民の方々の心身の健全な発達に寄与することを目的として建てられた、川崎市教育委員会所管の施設です。

スポーツセンターではこんなことをします。

- スポーツの指導及び助言に関すること。
- スポーツ及び体力についての相談に関すること。
- 各種スポーツ教室、講習会の開催に関すること。
- スポーツのために施設及び設備を利用に供すること、等。

★ スポーツセンターでは、団体使用(専用使用)と個人使用の日が決まっています。

施設名	火	水	木	金	土	日
大体育室	団体	個人	団体	個人	団体	団体
小体育室	個人	団体	個人	団体	団体	個人
第1武道室	団体	団体	個人	団体	団体	団体
第2武道室	団体	団体	個人	団体	団体	団体
トレーニング室	休館日以外毎日個人使用					
研修室	団体使用					

★ 開館時間

午前9時から午後9時まで(個人使用は午後8時まで)

★ 休館日

毎週月曜日(国民の祝日にあたる時は翌日も休館日)・成人の日・建国記念の日・市制記念日文化の日・勤労感謝の日。

(但し、上記の祝日が日曜日と重なる場合は開館いたします)

年末年始(12月29日～1月3日)

★ 利用の申込

- 印鑑を持参のうえ来館し「使用申請書」によりお申込み下さい。
- 午前9時から受け付けます。(同時刻に2団体以上の場合は抽選等で決定)
- 電話による申し込みはできません。

★ 施設案内及び使用料(土曜日の午後・夜間・日曜日・祝日等は2割増です)

施設名	規模	設備等	午前	午後	夜間	全日
			9:00~12:00	12:30~16:30	17:00~21:00	9:00~21:00
大体育室 (全面)	1,251.48㎡	バスケットボール2面 バレーボール2面 卓球12台 バドミントン6面 体操器具	4,500円	6,700円	11,200円	22,400円
大体育室 (半面)	625.74㎡	バスケットボール1面 バレーボール1面 卓球6台 バドミントン3面	2,250円	3,350円	5,600円	11,200円
小体育室	406.68㎡	バドミントン2面 卓球6台	1,800円	2,700円	4,500円	9,000円
第1武道室	197.47㎡	剣道・なぎなた・ 空手道・少林寺拳法他	700円	1,100円	1,800円	3,600円
第2武道室	197.47㎡	柔道・合気道・他	700円	1,100円	1,800円	3,600円
第1研修室	67.99㎡	スポーツ関係研修会 講習会・他	1,600円	1,900円	2,500円	6,000円
第2研修室	39.46㎡	"	800円	1,100円	1,700円	3,600円

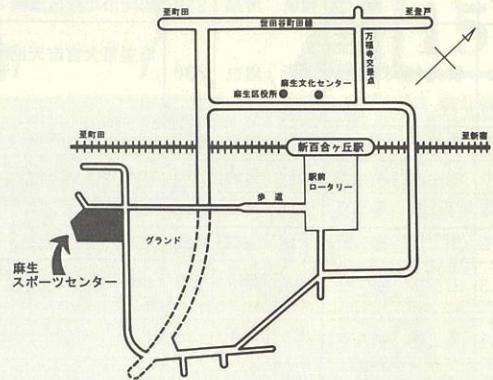
★ 個人使用料

施設名	種 別	午 前	午 後	夜 間
		9:00~12:00	13:00~16:00	17:00~20:00
大 体 育 室 小 体 育 室	6 歳以上20 歳未満の者 20 歳以上の学生	60 円	60 円	60 円
武 道 室 トレーニング室	20 歳以上の者 (学生を除く)	120 円	120 円	120 円

★ 申込期間 (団体使用)

※ 個人使用については事前の申込みは不要です。

施設名	受 付 期 間
大体育室 (全面)	使用日の6箇月前から15日前まで
大体育室 (半面) 武道室	使用日の3箇月前から7日前まで
研 修 室	使用日の3箇月前から3日前まで



川崎市麻生区上麻生3丁目6番1 TEL.951-1234

種目協会連絡会

№	協会名	氏名	〒	住 所	自宅電話	勤 務 先	勤務先電話
1	陸上競技協会	芳賀 学人	236	横浜市金沢区富岡西5-27-14	045-771-1543	市立今井中学校長	722-1458
2	野 球 協 会	高橋 章	215	川崎市麻生区王禅寺708-16	954-8133	中原区役所市民課	733-3111
3	バレーボール協会	前田 亨介	214	川崎市多摩区南生田2-12-17	955-8172	市立川崎高校定時制	244-4981
4	バスケットボール協会	岡崎 彦雄	214	川崎市多摩区登戸1972	911-6172	市立橋高校	411-2640
5	バドミントン協会	伊藤 一好	240	横浜市保土ヶ谷区岡沢町4-1	045-335-2337	いすゞ自動車川崎	277-1111
6	卓 球 協 会	古谷 保	211	川崎市中原区等々力3299	722-4304	明治製菓製菓部二課	548-6547
7	テ ニ ス 協 会	篠原 房高	210	川崎市川崎区藤崎2-3-10	244-1778	日本油油・千鳥	288-2153
8	軟式庭球協会	中森 忠也	330	埼玉県大宮市天沼町 1-621-124	0486-42-5360	柳 芝町	03 457-2733 511-4111 内 4282 鈴木
9	柔 道 協 会	矢野 宣義	211	川崎市幸区古市場1-46	522-4718		
10	剣 道 連 盟	上野 富夫	213	川崎市宮前区向ヶ丘1240-66	976-2550	千代田電気 KK	244-5461
11	弓 道 連 盟	小口 常雄	246	横浜市瀬谷区阿久和町4326-10	045-364-3719	鈴木興産 KK	355-9435
12	相 撲 連 盟	木村 三郎	226	横浜市緑区竹山4-3-3 4311-1112	045-931-0522	富士電機 KK	333-7111
13	山 岳 協 会	大筋 俊介	211	川崎市中原区荻宿194	411-7452	市民ミュージアム 準備事務局	200-3248
14	水 泳 協 会	長谷川武雄	210	川崎市幸区戸手本町1-9	533-1086	多摩川スイミング スクール	422-5222
15	ス キ ー 協 会	山本 信義	230	横浜市鶴見区栄町通4-46-5	045-502-5050	市港湾局企画課	200-3059
16	スケート協会	浅野 浩志	210	川崎市幸区幸町2-691	522-2761		
17	ラグビーフットボール協会	今村 貞	211	川崎市中原区 市ノ坪581-1-303	433-7286	東芝小向 輸送センター	511-1111
18	サッカー協会	古岡 幹雄	214	川崎市多摩区长尾7-29-15	866-8188	株式会社ミクススポーツ	822-8885
19	体 操 協 会	山本十三二	222	横浜市港北区太尾町802	045-531-6043	市立川崎中学校	222-7186
20	少林寺拳法協会	岩田 章三	214	川崎市多摩区生田7-17-8	932-1280		922-2263
21	空 手 道 連 盟	森 明夫	213	川崎市高津区子母口976	788-3648		
22	ハンドボール協会	斉田 英二	211	川崎市中原区小杉御殿町2-149	733-2078	市立工業高校	511-7336
23	なぎなた連盟	磯谷 文子	214	川崎市多摩区三田2-7 西三田団地1-3-401	922-1459		
24	ソフトボール協会	水野 豊	230	横浜市鶴見区岸谷2-7-19	045-572-0890		
25	クレー射撃協会	直井 光雄	211	川崎市中原区上平間1221	541-2200		
26	合気道連盟	大村 浩章	213	川崎市高津区末長650-1	865-1435		
27	高等学校体育連盟	岡崎 彦雄	214	川崎市多摩区登戸1972	911-6172	市立橋高校	411-2640
28	中学校体育連盟	今井 厚	158	東京都世田谷区等々力6-7-2	03-702-2484	市立南加瀬中学校	588-6427

あ
と
が
き

昭和61年度より体育協会も、やがては財団法人としての歩みのため、新しく発足し、我々は新たな広報委員として、市民スポーツの宣伝啓蒙に全員で心掛け取り組み、新しい要素を取り入れ、紙面の刷新をはかり、皆さんに喜んで見て頂ける広報にと念願しております。

広報委員長 大山政次

昭和61年9月20日発行
川崎市体育協会広報紙
編集・発行
川崎市体育協会広報委員会
〒210
川崎市川崎区宮本町6番地
川崎市教育委員会体育課内
電話 044-200-3312